ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	鈴木 とも恵
主な担当科目	実技個人レッスン[声楽 I ①,声楽 I ②,声楽 I ③,声楽 I ④,音楽芸術表現実技(声楽)①,音楽芸術表現実技(声楽)②,音楽実技(声楽) I,博士特別表現研究③]
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	本年度はテクニックの見直し、伝え方の方法、個々の捉え方を個々の理解度によって、指導法を変える取り組みをした。支えられている声、高音の出し方、レガートにする為に必要な息の繋げ方等、毎回のレッスンで達成感を感じられるレッスンを目指した。
2023年の教育に関する自己評価	学生が歌唱することの難しさを感じてしまう事に注意した。その結果、この道を通れば、声は簡単に響きを増し、毎回のレッスンで達成感を感じ、意欲的に取り組めていたと思われる。
2023年のFD活動に関する自己評価	FD研修会では他の部会や非常勤の先生方から、学生の問題や授業の運用上の問題を共有できる貴重な機会である。問題点を共有し、解決に向けて方向性を導き出す。
授業改善のために取り入れた研修内容	本年度も引き続き、生徒募集に関する意見交換が積極的に行われた。声楽はコロナの余波が受験者数に影響が出てきている様に思われる。様々な方向から、昭和音大の魅力をアピールし、全国に向けていくべきだと再認識する。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:1731 教員名:鈴木とも恵

1)アンケート結果に対する所見

アンケートは 19 名の受講者から 6 名の回答である為、学生の意見が拾い上げられているか疑問が残るが、6 名の回答から、学生の意見を汲み取りたいと考える。Q1、Q5、Q6 の設問に関して、6 名“そう思う”と回答している。

Q5 自分はこの授業に興味や関心を持って出席している

Q6 授業は学修成果を得る為の工夫がなされている

この回答から、学生は意欲的に取り組み、教員は学生から興味を引き出せる授業の提供ができているという、非常によい結果であると考え。

Q2、Q4、Q9、Q10設問の回答から、ほぼ全員が満足していると捉えられる結果である。

2)要望への対応・改善方策

授業は学生とのコミュニケーションに努めながら進められているか(Q7)

自分はこの授業の予習・復習をしている(Q8)

この設問に関して、学生と共有できていないことがわかる。Q7に関しては、一方的な授業にならない様、改善していくべきだと考える。

Q8に関しては、授業を受ける前の準備についてシラバスに記載したいと考える。

3)今後の課題

今回の、改善方策に記載した内容を参考に、来年の授業に臨みたいと考える。

以上